

【概要・一般目標：G10】
周産期にある母性看護の対象者（妊産褥婦ならびに新生児）とその家族に対して、知識・技術・態度を統合し、個性のある看護を実践するための基礎的能力を修める。

1. 受け持ち褥婦の特性を理解し看護を実践できる。
2. 受け持ち新生児の特性を理解し、看護を実践できる。
3. 妊婦の特性を理解し、必要な看護を考察する。
4. 産婦の特性を理解し、必要な看護を考察する。
5. 社会資源の活用について理解できる。

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	リプロダクティブヘルスケアⅠ・Ⅱならびにセクシュアリティと看護で使用した教科書を活用する			
参考書	必要に応じ随時提示します			
その他の資料	母性看護学実習要項			

【評価方法】 目標達成度の評価ならびに出席状況を総合的に評価する	【履修上の留意点】 課題意識をもって主体的に学習すること 対象者の安全と満足度に十分配慮すると共に対象者の反応を重視すること 止むを得ない事情以外、全日実習することが原則である
--	--